

ハレルヤ！ 恵みの雨と共に緑が日に日に力強くなる季節となりましたね。皆さんも主にあって元気にご活躍のことと思います。ますますのご健康、神さまの祝福と豊かな報いを祈っています。

チア・にっぽんは4月に「受験・進路WEBセミナー」を開催できました。北海道から沖縄まで、全国から53家族（各家族の伴侶・子どもたちを入れると約150名）の皆さんが参加し、神さまの恵みとチャレンジあふれるにぎやかなセミナーとなりました。ご参加とお祈り、ありがとうございました。6月25日（土）には国立オリンピック記念青少年センターで「マット・跳び箱セミナー」を開催予定です。国会・文科省との連携も進んでいます。引き続きお祈りいただければ幸いです。

皆さんからの進路、進学のご連絡等と共に、コロナ禍の新しい教育環境も追い風となって、チアへの問い合わせもぽつりぽつりと与えられています。良きサポート役となれるようにお祈りいただければ幸いです。

こうした感謝な歩みとミッションができることは神さまのあわれみと助けであり、皆さんの温かき応援のお陰です。いつも本当に良き応援と助けを賜り、誠に幸せです。本当にありがとうございます。不十分で未熟ながら、イエスさまと隣人を「心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして」愛する心を持って歩んでいくことを改めて示されています。

皆さんとの再会の時が与えられることを祈っています。イエスさまからのますますの祝福を心から祈っています。

主にありて

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

— 目 次 —

- 1-13 巻頭言
「形よりも本質を！」
- 14-16 うまくなる！ マット運動&跳び箱セミナー
- 17-23 WEBセミナー「ホームスクーラーの受験・進学」
参加者の声 & 参加者から寄せられた質問
- 24 チア・カレンダー&会計報告



**「形よりも本質を！」
聖書・キリストは基軸に、
細かいところは多様に！**

ハレルヤ！ 4月1日のチアWEBセミナー「ホームスクーラーの進学・受験 情熱と感謝とリスペクト大作戦！」ですが、神さまの恵みと祝福の中で開催できました。皆様のご参加、お祈りを心から感謝しています。

基調講演者5名、証しをしてくださった1名のホームスクーラーの先輩方から、実践的&信仰的な良き励ましのメッセージをいただきました。また講師陣への事前質問も18種類ほど届き、それぞれの経験に基づく多様な回答に盛り上がりました。神さまが導き、知恵を与え、祝福してくださったのだと思います。セミナー中、私自身もとても楽しく、励まされ、示されることが多かったです。その一部を報告させていただきました。

3点、書かせていただきます。最初は、「形よりも本質！ 神さまの多様な導きの中でのホームスクーリング」です。

参加者の皆さんから、多数のコメントをいただきました。



「素晴らしいセミナーをありがとうございました。きっと講師の皆様は立派で、セミナーに参加したら逆に落ち込むかも…とちょっと思っていました、全然落ち込むことはありませんでした」



「講演くださった4家族の皆さんは、それぞれ多様なバックグラウンドを持ち、とても良かったです。ある講演者が『ホームスクーリング中、涙を流した』と話されましたが、『我が家も今週、涙を流したばかりだよ！』と思いました。

チア・コンベンションや今回のようなセミナーで受ける最高の励ましの一つは、他の家族の実践を聞き、同じような経験をしていることに共鳴できることです。今回も、何回『我が家と同じだ！』と思ったことでしょう」



基調講演者の皆さんは、まさに多様なバックグラウンドを持っている皆さんを神さまが集めてくださいました。チアとしては「形よりも本質！」がモットーです。神さまを愛し、信じ、従う！子どもたちの魂の救いと、キリストの心を養うこと、そして伝道・世界宣教という強い目的を目指して歩む！といった根幹の理念は変

わりません。

しかし、枝葉のところは、各ご家庭の事情に基づく、神さまの導きをリスペクトし、多様性を尊重することを示されてきました。

今回のセミナーでも、そのことを改めて示された気がしています。通信制高校をどう考えるか、大学は自宅から通うか、送り出すか…等も、講演者の皆さんによって背景が違います。それぞれ自由に質疑応答していただき、まさに多様な教育の多様な結実から、自分に適応できる情報を選んでいただく姿勢で進めました。

最近、様々な事情からホームスクーリングを断念され、公立の学校に通学することになったホームスクーリングママのEさんから電話をいただきました。「恥ずかしいのですが…」とおっしゃるので、こうお伝えしました。

「全く恥ずかしくありません。神さまは、何かご計画があって、将来さらに大きく用いようとして、学校や先生方も含めた新しい環境を祝福され、新ステージで鍛錬されているのではと思います。

ホームスクーリングという形より、本質です。ホームスクーリングという形が目的ではありません。Eさんは、やむなき事情の中で、ホームスクーリングマインドを持って強い3つの目的を目指し、親の責任を果たそうとされています。だから、新たな環境での教育、聖書の本質を押さえた教育は、全く恥じることではないです。堂々と、チアのイベントや交わりに参加し続けてください」。Eさんは喜んでくださいました。

今回のセミナーは、様々なバックグラウンドの講師陣を神さまが送ってくださいました。そのセミナーを通して、「形ではなく、本質を！」と、改めて人間の思いを超えた神さまの計画の確かさを覚えることとなりました。

20年の恵みに基づく励ましと感謝！

今回の講演者は、約20年越しでホームスクーリングに取り組んでこられた皆さんです。「時が来ると実を結び」（詩篇1:3）の聖句のごとく、



5月に裁判官に着任したAさんご両親
(写真はチア・マガジン23号、
2006年発行より)

20年の歳月を経た、神さまにあつての成長と結実を感じ、とても感謝で、嬉しかったです。

ヨハネの福音書15章5節に、「…人がわたし（キリスト）にとどまり、わたし（キリスト）もその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます」とあります。

今春から裁判官として赴任したAさんご両親は、チアの草創期から参加くださっていました。伝道に燃え、関東から住居を丸森に移され、伝道を基軸にホームスクーリングを展開されました。私が丸森に伺った時には朝マラソンと一緒に走るなど、幼い頃からの思い出がたくさんあります。高3になってからは、弁護士を目指すという志が与えられました。

私も学生時代、法学部で学び、司法試験を目指す学友が多かったこともあり、ご家族と、そうした話をし合える恵みも与えられました。現在、ご家族は関東に住まわれつつ伝道を続けておられます。ちょうどセミナーの直前に、およそ10年間、ガンで闘病されたテモテ・ブローマンさんファミリー（チアのみんなを当初から応援くださいました）がタイに引っ越されまし



第2回チア・コンベンション（2001）の準備を手伝うBさん（現在、研修医 / チア・マガジン5号）



ギンターさん家族（カナダの大学を卒業した2人は牧師に。3男は現在、同じ大学に在学中）

た。Aさん家族はチアの仲間を代表し、成田空港に見送りに行ってくださいました。

Aさん家族は、伝道を中心とした生活の中で与えられた志と、扉開かれるに至った受験勉強のポイントについて、ご家族で話してくださいました。数学が苦手だったAさんは、高校時代、お母さんが寄り添ってくれて克服できたと話してくださいました。お母さんは、Aさんの小中時代、計算を始め、算数・数学の土台をしっかりと教えなかったことを反省しつつ、あわてて寄り添ったとのことでした。

共通テストの直前には、「感謝を忘れていたのでは？」と親から指摘され、反発したAさんが、家を飛び出した後、公園で一晩祈り過ごしたエピソードをお母さんが話してくださいました。悔い改めて臨んだ試験に神さまは合格させてくださいました。家族と一緒に聖書の学びや祈り、伝道などが継続できる、自宅から通える点を大事にしたいと選んだ地元の国立大学に進学し、さらなる導きの中、裁判官への道が開かれていきます。

研修医として羽ばたいているBさんのお父さんは、チア設立時に2年間、事務局長等を引き受けてくださいました。現在、お父さんは高校の校長に昇進されています。

チア旗揚げセミナー（第1回チア・コンベンション / 2000年4月）前後の1週間あまり、私はBさんのご自宅に泊めていただき、準備とフォローにあたりました。当時、Bさんは5歳で、夜になると「世界の国旗当てゲーム」等と一緒に楽しみました。お母さんと一緒にコンベンションの準備も手伝ってくださいました。通信制高校時代は「覚悟をもった勉強が必要！」と示され、準備を重ね、「同僚や先生方とも一緒に天国に行けたら」との思いを持ちながら医師への扉が開かれていきます。

ギンター千為子さんは、チア設立数年前からホームスクーリングを展開されていた先輩です。やはりチアの初期から参加くださり、3人の子どもたちは、LITやサマーキャンプ、白馬セミナー等で活躍してくれました。子どもたちは皆、お父さんの母国カナダの、信仰に燃えた大学に進学し、2人は牧師になり、1人はまもなく卒業です。千為子さんは元国語教師でしたが、バイリンガルの子どもたちは国語（特に漢字）が苦手。努力を重ねてもなかなか成績につながらなかったそうです。苦労を重ね、高

認に合格でき、カナダの大学に導かれました。そうした体験も重ねた千為子さんは、現在オンラインのサポートスクール「パートナー」を通して、全国のホームスクーラー約25名を助けてくれています。

C君は、高認後、伝道ミッションへ…との志が与えられ、高2の時に1年間、南アジア、タイ、韓国での伝道訓練を受けました。訓練中、伝道者の方から、その姿勢を高く評価されつつ、「まず大学で学ぶのもいいかも」とも励まされ、帰国後、受験勉強をスタート。1年後、国立大学の扉が開かれて現在在学中です。お母さんは6年余り、片道1時間30分あまりもかけて週1-2日とチャアに来て、スタッフとして労してくださいました。それでC君も一緒によく手伝ってくれました。

C君が幼い頃、オリンピックセンターで「チャア・ミニ学習会」という企画を開催していました。セミナー室で学びの時を持った後、午後は体育館へと向かいます。向かう途中、弟のD君と一緒に僕の手を握り、一緒に手をつないで体育館に行ったことが良い思い出です。

高認を取って伝道者へ、と思い描いていたこ



掃除が日課のC君（現在は、大学在学中/
チャア・マガジン34号、2011年発行より）

ともあり、大学の受験勉強はしていなかったそうです。しかし、小さい頃から学んでいた英語のみが二次試験科目である学部を見つけ、地元の国立大学に合格します。お母さんへの感謝、そして、祈りは応えられる点を力強く話してくれました。

講演者の皆さんのお話を伺い、主にあって尽力された親御さんやご本人へのリスペクトと主の恵みに感謝しました。そして、詩篇の1篇を思いました。「幸いなことよ 悪しき者のはかりごとに歩まず 罪人の道に立たず 嘲る者の座に着かない人。主のおしえを喜びとし 昼も夜も そのおしえを口ずさむ人。その人は 流れのほとりに植えられた木。時が来ると実を結び その葉は枯れず そのなすことはすべて栄える」（詩篇1:1-3）

大器晩成

最初の模試はE判定！

合格がゴールではないし、焦らずに！

共通項の2番目は、ホームスクーラーらしく大器晩成型で志を実現していかれた点です。本格的な受験勉強のスタートは、高校に入ってから。中には高校3年生の春からの方もおられました。模試の判定はE判定からのスタートという方々も多かったです。

アメリカの各種の調査結果では、ホームスクーラーの全国共通テスト（SAT等）の平均成績は約20%高いとの数字が出ています。日本は知識暗記型の受験勉強が多く、好成绩を残すためには一層の時間がかかると思います。

でも、大器晩成。成績においても、神さまの恵みと励まし、また親御さんたちの愛情と寄り添い、時間やエネルギー、情熱を注いでの労苦のもと、神さまにある良きセルフイメージを持ちつつ、難関を突破していく子どもたちが年々、増えています。神さまに祈りながら、良き動機と真面目に努力を重ねていく姿勢を、親御さんたちの犠牲のもとに身に着け、聖書にあって訓練され、神さまに不可能がないことを体験しつ



つ、結実していく姿が見えてきます。今回の講演者の皆さんたちも、その証しをしてくださいました。

この原稿を書いている本日、電話をくださったホームスクーラーママさん（お子さんは現在大学生2人）も「ホームスクーリングを続けて良かった！」と話してくださいました。時間はかかります。日常の困難や試練もあります。でも、天国に向かっての歩みのゴールは確かです。

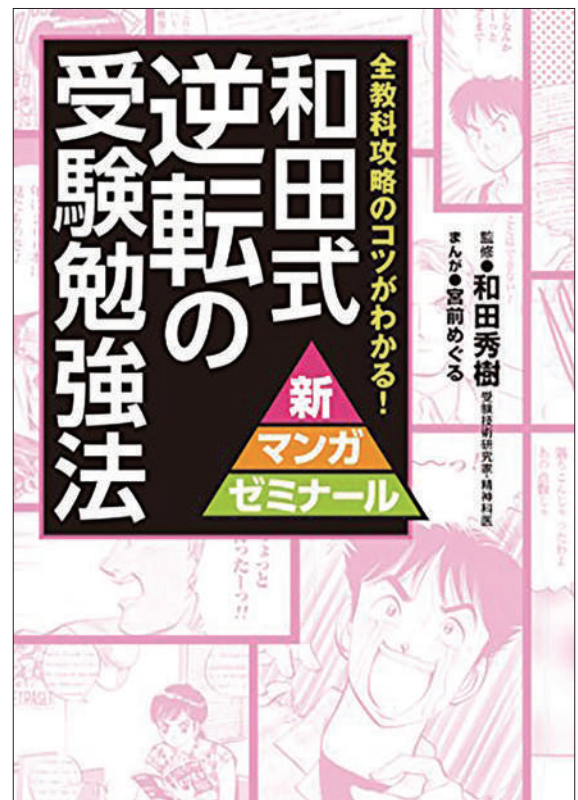
今、その実が見えずとも一喜一憂せず、神さまを見上げ、神さまを愛することを優先させながら土台作りをし、努力を重ねる時、神さまの恵みが深いことを思います。

世間では「頭が良い、悪い」との言い方をされるケースもあると思います。神さまの創造に失敗はなく、すべての子どもたちは「恐ろしいほどに奇しく」（詩篇 139:14）創られたのであり、「頭が良い、悪い」はありません。

この点については、受験生に評判の高い精神科医で作家の和田秀樹さんが、同様に話されています。「頭の良し悪しはなし。数学も基本的には暗記。どれだけ、効率よく受験の準備をし、暗記するかの違いだけ」という主旨で書かれています。以前ニュースレターで紹介しましたが、今回のセミナーでもBさんが推薦していたので、

本の名前を再度、紹介させていただきます。

受験のコツについて和田秀樹さんが著した『全教科攻略のコツがわかる！ マンガ 和田式 逆転の受験勉強法』『マンガ 和田式 はじめての難関大突破術』（学研教育出版）です。受験勉強のコツを知り、しっかり準備をしたか



どうかの違いに過ぎないとのテーマに沿った分析書です。受験というものは、人間の素質や能力、可能性の素晴らしさによらないと見ます。やるべき準備をすれば大丈夫との見方です。

ホームスクーリングの目的は、受験に受かることではなく、神さまに目を向けた大切に崇高なものです。神さまの導きの中で、強い3つの目的を目指して進まれてはと思います。今、勉強の結果が出ていなくても、がっかりされませんように。難関大学や資格試験への志が与えられている皆さんは、マンガ版でさっと読めますので、ぜひ一度、目を通されてはと思います。

勉強に限らず、芸術でもスポーツでも、ただ単に準備不足だけなのに、「自分はできない!」「頭が悪い」「センスがない」とセルフイメージが傷ついてしまい、どんどん悪いリズムになっていきがちなケースもあると思います。あるいは、逆に「自分はできる。頭が良い」と思っている子は、傲慢になってしまい、「高慢は破滅に先立ち、高ぶった霊は挫折に先立つ」(箴言16:18)と、聖句で警告されている道を歩んでしまうリスクが出てくるでしょう。「焦らずに、神と人とを愛し、主との絆を深めながら、忍耐を養い、努力を重ねる」ということだと思えます。

セミナー後、講演者のお母さんがメールをくださいました。

『目的をしっかり見定めて!』ということを示されます。私達のゴールは、天国であり、恵みにより、既に約束されています。進学も、就職もゴールではなく、通過点に過ぎません。『どこを通るか』よりも、『どのような志で励んだか』の方が大事であると思います。我が家も、就職がゴールではないからこそ、選べたし、励めたのではないかと思います。

途上ですから、これからも、親も子も、ゴールである神の国とその義を求め、主イエス様から目を離さず! 歩いて行くことができますようにと、願ってやみません!

アーメンです。今はプロセス。天国のゴールを見定めて、祈って励んでいければと思います。

伝道・祈りの力

上記の通り、それぞれのご家族が、伝道、祈りの力等を実践・体験され、不思議と道が開かれ、そのことを、明確に証言してくれたご家族が多かったことも特徴でした。

「ホームスクーラーの皆さんの意見が聞けて、励ましになりました。祈りを捧げる中で、すべての道が示されていくことを実感しました。これからも、聖書と祈りを大切にしていきたいと思います」「進路についても、親自身が主に信頼すること、子どもたちが主に従う手助けをすることを覚えて歩みたいと思いました。このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。Webセミナーの機会がまたあるとうれしいです」「神さまが示してくれた道を一直線に進んで行きたいと思いました」「一番考えさせられ、教えられたのは『神さまに祈り求めること』でした!」「講演者の皆さんが話された、『神さまに祈り求める!』との証しに感動しました。僕は今まで勉強や、やりたいことをする時に、神さまに祈っていませんでした。でも、セミナーの皆さんの証しで新しいことを学ぶことができました。本当に素晴らしいセミナーでした!」

私たちに示されている強い3つの目的を心に刻み、神さまを愛しながら進んでいければと思います。チアのTシャツやパーカーにも記していますが、「①魂の救い Salvation」「②キリストの弟子のこころを与える Heart of Christ」「③伝道・世界宣教! Mission!」です。日々未熟さを悔い改めながら、神さまを愛する気持ちで、皆と一緒に進んでいければと改めて思います。

上記の3点のほかにも多くのことを教えられ、また学ばされた楽しいセミナーでした。多くの皆さんが、今回のセミナーの続編の開催を!とコメントして下さったことも特筆すべき点でした。参加者の皆さんの感想は、17ページから掲載しています。また、DVD等の案内もあります。どうぞ、ご覧ください。